

ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city

Culture Magazine ROSE

冬 Vol.30 WINTER 2000 号



Vol. 30



ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 2000年1月発行 (第30号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416-0931富士市蓼原1307番地の8 TEL(0545)60-2510(代)
企画・編集・制作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 株式会社マグナプロセス

Gallery Concert

6夜連続
ギャラリー・バロックコンサート

5日 (日) 16:00~17:00

富士フィルハーモニー管弦楽団
メンバーによるアンサンブル



昨年のギャラリーコンサートより

7日 (火) 17:30~18:30

本田まき
フォルテピアノ



8日 (水) 17:30~18:30

杉山佳代
チェンバロ



9日 (木) 17:30~18:30

伊藤美幸・長瀬正典
チェンバロ・リコーダー



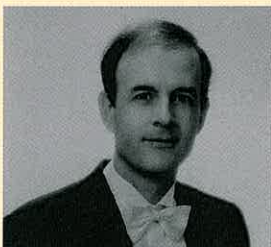
10日 (金) 17:30~18:30

西村三佳・佐野糸保美
フルート・チェンバロ



11日 (土) 17:30~18:30

クレイグ・ハンセン
パイプオルガン



楽器の浪漫シリーズ

バロック古楽器の世界展



フレミフシュ
ヴァージナル
C/E-e"
ベースショートオクターブ



フォルテピアノ
アンドラス・シュタインのレプリカ
FF-f^{'''} 5オクターブ

二十世紀を生きるバロック音楽

毎回多くの皆様から好評を得ているロゼシアター独自の企画展示「楽器の浪漫シリーズ」第三弾として「バロック古楽器の世界展」を開催します。これまでのギター、フルートに続く展示として西洋古楽器(バロック期)をご紹介します。はるか十七世紀の音楽が、その純粹さと楽しさゆえに現代人に憩いと救いを与えています。そして二十世紀をも生きるバロック古楽器の世界を目と耳でお楽しみください。



今回の展示は、バッハ没後二五〇年記念公演「バロックの杜シリーズ(全七回)」と連携して開催します。「楽器」(このように楽譜が演奏できる楽器)

ギターの浪漫で紹介したリュートをはじめハープ、ヴァージナル(ハープシコード)など現代の楽器の原形となる古楽器がいかに私たちの音楽文化を形作ったか、展示ではフォルテ



ピアノ、ヴァージナル、リコーダー、ヴィオラ、タムバ(写真)、パイプオルガンなど貴重な名器を一堂に展示するとともに、初日には吉澤美氏による「少年少女レクチャークンサート」楽しいリコーダー教室を開催。さらには展示期間中、六夜連続の「ギャラリー・バロックコンサート」を開き、来場者の皆様に目と耳でバロック音楽を楽しんでいただける展示内容となっています。

三月五日(日)〜十一日(土)
午前九時〜午後七時
入場無料
展示室

バロック音楽豆知識

十七世紀から十八世紀中頃までの二五〇年間を、「バロック時代」と呼んでいます。バロックの語源はポルトガルの真珠商人が産んだ真珠のことを「バロコ」と呼んだことに由来し、普通と違うという意味で用いられていました。このバロック様式はそれまでのルネサンス様式と同様イタリアにおり、その後ヨーロッパの美術、彫刻、音楽などあらゆる芸術文化に影響を与えました。音楽においては、作曲者の意とする情緒や感情の表現が重んじられ、独唱を通過低音で伴奏するモノディ様式が生み出されました。

通奏低音(バツ・コンティヌオ)通奏低音のパートには、バス旋律と和音を示す記号が書かれ、チェンバロなど和音楽器の奏者は、その記号に従って即興的に上声の和音を補いながらバス旋律を演奏しました。また、ビオラ、ガンバやチェロの低音楽器がバス旋律を重ねて演奏することも多かった様式です。

この通奏低音の出現によりこれまでの音楽を支配していた教会旋律に長調・短調が加えられ音楽の世界が広がっていったことが示されます。

楽器については、ルネサンスまで音楽中心の音楽だったものに、楽器独自のソナタ、コンチエルト、組曲などが現れ声楽と並ぶ勢いとなりました。こうした流れは声楽と楽器の楽曲オペラ、カンタータ、オラトリオを生み出しました。

楽器が多様に使われはじめると、ほとんどの器楽曲に通奏低音が用いられ、ソナタ(イタリア語でソナレ)楽器で演奏する)は器楽曲を示す言葉となりました。当時を代表する作曲家として、バッハ、ヴィヴァルディ、ヘンデル、テレマン等がいます。コンチエルト(イタリア語でコンチエルト)は、共動とラテン語のコンチエルト(競争)は十七世紀はじめに声と楽器のアンサンブルを指す言葉とされましたが、器楽曲としてバッハのブランデンブルク協奏曲等が有名です。

こうして発展してきたバロック音楽はさまざまな形式を確立し、やがて古典派、ロマン派へと継承されていきます。

文楽の魅力

富士市文化振興財団芸術委員

水落 潔

劇団四季が上演中の人気のミュージカル「ライオンキング」は、ライオンをはじめアフリカに住む動物たちの物語ですが、登場する動物たちの表現に、文楽や車人形、影絵といったアジアの人形劇の手法が巧みに使われています。演出家のジュリー・ティモアさんは、アジアの芸能を学び、その手法に関心を持ち、この作品の演出に応用したのです。日本の古典芸能が、最先端のミュージカルの演出に大きな影響を与えているのです。面白いではありませんか。



日本には古くから人形を遣う芸能がありました。傀儡師と呼ばれた人たちが人形を遣って、旅人を接待したり豊作を祈念したのです。十四世紀ごろになると、傀儡師たちは「手くぐつ」と言い、小さな箱に入れた人形を持って諸国を旅して芸を見せるようになりました。

一方、日本には語り物の芸能もありました。有名なのは「平家物語」を琵琶で語る平曲ですが、歴史上に名高い英雄や事件を物語る芸能です。そんな語り物の芸能の中から、十五世紀ごろに「浄瑠璃

姫物語」という作品が生まれました。この作品が全国的に流行したため、いつしか音楽的な語り物を「浄瑠璃」と言うようになったのです。浄瑠璃は十六世紀に南方から渡来した新楽器の三味線と結びついて発展し、各地に様々な浄瑠璃が誕生しました。



こっけいな人形「朝顔日記」の祐仙 (吉田義太郎)

やがて浄瑠璃は人形芸能と提携して、浄瑠璃に合わせて人形が芝居する人形浄瑠璃という新しい芸能が生まれることになったのです。恐らく十七世紀のことだと言われています。

文楽の特色の一つは、太夫と三味線が、戯曲を義太夫節という音曲で語る音楽劇だということです。太夫、三味線は戯曲の中の言葉をしきりに吟味して、一語一音に心を込めて語り弾きます。二つ目は、主遣いと呼ばれる人形遣いを中心に、左遣い、足遣いの三人が息を合わせて人形を遣う三人遣いの様式を持つということです。三人の人形遣いは、人形の制約を逆手にとって、人形でないとなれない美しい形や動きを描き出し、そのことで人間の感情を表現します。観客は太夫と三味線が描き出す情景や人物の言葉、心理を耳で聴きながら、人形の姿や動きを目で楽しむこととなります。そこに人間が演じる劇とはまた違った楽しさ、面白さが生まれてきます。

舞踊劇「連獅子」の舞台



世界の人形芝居のほとんどは、人間では表現出来ないファンタジーやメルヘンの世界を描こうとしています。

これに対して文楽は人間の情愛を描くことを目的にして発展してきました。木偶の人形を使って、人間が演じる以上に人間の喜びや悲しみを表現する。これが文楽の大きな特色です。文楽は太夫、三味線、人形遣いが一体となった緊密な舞台を作り出すことで成立しています。



文楽の演目には大きく分けて時代物と世話物があります。時代物が話のスケールが大きく浪漫的で叙事劇の色彩が濃いのに比べ、世話物は対照的に名もない庶民が主人公の物語です。世話物は写実的で人情の機微を描いた作品が多いのが特色です。



時代物「義経千本桜」の平 知盛

世話物の「新版歌祭文」野崎村の段
お染と久松



今回は第二回目の講座に文楽を代表する太夫の豊竹咲大夫さん、三味線の竹沢宗助さん、人形遣いの吉田義太郎さんが来て下さいます。太夫の語り口の工夫、三味線の役割と演奏、人形遣いの演技、演出について細かく実演し解説して頂けると思います。きっと楽しい講座になることでしょう。

この機会に日本が生み出し、世界的な評価を得ている文楽について、少しでも知って頂けたら幸いです。

ふじの芸術家たち

工芸・洋画 二人展

ARTISTS from FUJI

2月11日(金)～20日(日)
9:00～19:00

(最終日は17:00閉場)

展示室
入場無料

今年の「ふじの芸術家たち」展は、工芸・洋画という珍しい組合せです。
その中で“七宝工芸”というアートは一般にあまり知られていないジャンルで、市民の話題をよぶことでしょう。
また洋画は、女性らしい感性にあふれたみずみずしい心象絵画です。
富士を離れ、中央画壇で活躍するお二人をアトリエにお訪ねしました。

洋画

内山良子



「私の絵は“心象人物画”です」
若い頃は、ゴーギャン、ルオーなどの絵が好きだったのでフランスのギュスターブ・モローの水彩画に出会って衝撃を受け、パリに行った時など一日中モロ

「はじめは水彩画からスタート」
絵を描くことは子どもの頃から好きでした。先生にほめられ、嬉しかったという記憶があります。その後、親に説得され普通のOLの道へ進みましたが、高校を卒業して四年後に富士を離れて結婚、そして子どもの誕生、しばらく専業主婦を続けました。
子どもが大きくなった三十代後半から再び絵筆をとり水彩画から始めました。今思うと富士から離れて都心近くに居を構えたことが絵を描くことにはよかったです。

「その後、油彩画に転向」
主な活動場所は水彩連盟（水彩画の全国組織）、光風会、太平洋美術会などで、一九八〇年代はあちこちの公募展に出品し画境の幅を広げていきました。一九八六年に太平洋展で新人賞を頂き、新たに油彩画にも興味をもち始め、自分で研究を重ねました。油彩、水彩両方やってみて描き手としての心は全く同じ、技法の違いこそあれ自分自身がしっかりと考えたうえで絵に向かうことが何よりも大切だということを得ました。現在はひたすら油彩の道を歩んでいます。



内山良子 YOSHIKO UCHIYAMA
(横浜市)
●プロフィール
吉原高等学校卒業
1986年 第82回太平洋展入選
1987年 第83回太平洋美術会 会友推挙
1988年 第84回太平洋展
1990年 第86回太平洋展
1998年 第94回太平洋美術会会員秀作賞
現在 太平洋美術会会員

「自分で納得して描くことが大切」
絵を見て下さる人は、当たり前のことですが皆さん違った感覚の持ち主なので、それぞれにいただいた貴重な教訓を自分なりに消化し、制作の励みとなるよう生かしていけたら最高ですね。私はこれから自分で納得できるやり方で、人物を中心に心象画を追求していくつもりです。
今度の展示に際し、大勢の郷土の皆さんにご覧いただき、感想などいただいたら大変ありがたいと思います。

工芸

松山香代子



第31回日展 FANTASIA

「まず“七宝工芸”を紹介します」
私のやっている“七宝工芸”というアートは、富士ではまだあまり知られていないと思いますので、最初に紹介しておきます。使う素材は銅、真ちゅう、鉛、アルミ、銀、ガラスなどで、彫金、象がん、焼成などの工程を経て部品を組み合わせていきます。はじめはデッサンをおこし、それをデフォルメしてデザイン画とします。その下絵をもとに加工した部品をベニヤ板に接着剤で貼り付けていくわけです。時にはレリーフ状に盛り上げたり、立



体的に表現することもあります。作品の中で、ポイントになるのが七宝です。銅板に釉薬（ガラスの色粉）を付着させて約九〇〇度の温度で焼付けます。
今回展示する作品は一〇〇号クラスもたくさんありますので、皆さん驚かれるのではないのでしょうか。

「今は重と花をモチーフにして」
現在、日展には六回連続して入選していますが、今後十回を目指して頑張るつもりです。私自身はまだ若いと思っていますし、感覚的にもイメージがどんどん広がります。この七宝工芸の普及拡大に努力をしていきたいと思っています。これ

「独自で勉強した七宝」
少女時代は詩を作ったり、短歌を作ったり、時には絵を描いたり、多感なひとときを過ごしました。七宝は、当時今泉にお住まいの先生から習っていたのですが、一九七五年に主人の転勤で東京、全日本七宝工芸講師会に通って七宝のライセンスを取得してから本格的にこの道を進み出したのです。
私は師事する先生を特にもたなかったので大変さはありましたが、自分のやりたいことが出来ました。公募展に作品を出し続けた甲斐があつて、会員推奨資格の五回入選、二回入賞と日展三回入選の難関を突破して晴れて日工会会員になりました。この時はさすがに嬉しかったですね。

まで「猫と女」「都会」をテーマに作品と取り組んできましたが、昨年から「重と花」をモチーフに選んでいます。若い頃、詩歌の制作に夢中になっていたので、現在作品を作るうえでモチーフの抽象化に少なからず役立っているような気がします。
この作品展で七宝工芸に一人でも多くの方が興味をもっていただけたらありがたいですね。



松山香代子 KAYOKO MATSUYAMA
(富士市・横浜市)
●プロフィール
富士高等学校卒業
1991年 日本七宝作家協会 会長賞
工芸美術家協会 工和会 毎年入選
1992年 神奈川七宝展・川崎市長賞
1993年 日本七宝国際展 佳作賞
現在 工芸美術家協会、日工会、工和会 会員
日本七宝作家協会 会員 他

楽譜はバッハ自筆のカンタータBWV8「最愛の神よ、われいつの日に死なん」のオリジナルパート譜 (Bach-Archiv所蔵)



バッハ家はパン職人の家系だったが最初の作曲家ヨハン(二六〇四〜二七三三)からカントル(教会音楽指導者)、オルガニスト、町楽師、楽器職人等が出る。父は町楽師。族の音楽家としての連帯感強く、バッハ族の起

◎バッハのプロフィール

絶対主義の体制下、専制君主と経済力のある市民層の緊張の中で共存は、諸声部が緊張をもつてドラマチックに対立するパロックのポリフォニー(複旋律音楽の本質)と共通する。その音楽が完成した後期にバッハが活躍し頂点を極めた。音楽家は当時君主、教会、市民に対応して宮廷、教会、劇場又は都市音楽家がいいた。

◎パロック後期のバッハの背景

最古のオペラ、ベリの「エウリディチエ」が上演された二六〇〇年から、バハが世を去った一七五〇年迄を音楽史では便宜上パロック時代と呼ぶ。

バッハの年——二〇〇〇年

内藤 閑喜



源(二七三五)を記し、自身二十四番目に登場する。

先妻マリアとの間に七人、後妻アンナとの間に十三人の子がいる。エマヌエル、フリードリヒ、クリスチャンは音楽家として名を残す。バハの作品が今日あるのはアンナの写譜による。ところが大きいと言われている。ケーテンのレオポルド公官廷楽長時代(二七二七〜二七三三)、フランドル協奏曲、無伴奏チェロ組曲、無伴奏ヴァイオリンソナタ、妻子の教育用とした平均律クラヴィア曲集、巻等を作曲する。

◎バッハの音楽

クラシック音楽はホモフォニー(和音付単旋律音楽)で適宜ポリフォニーの要素を入れた



発売の超高価なバッハ全集や聖金曜日に「マタイ受難曲」のチケットはすぐ完売し、マタイの三時間、及ぶ演奏中ドイツ語で歌

※(写真説明)
(1)ライプツィヒの画家エリス・ゴットロープ・ハウスマンによる「自作の声のカンツォネ」ヨハン・セバスチアン・バッハの油絵肖像画
(2)ライプツィヒの聖トーマス教会
(3)当時のスタイルを表現した「ラ・クルトワジー」(La Courtoise:女性に対する礼儀正しさの意味)のコンサート

【協力者名】 Verein Thomaskirche-Bach 2000 e.V.
Bach-Archiv Leipzig Friedbert Diels Martin Loughich

マンドリン制作・演奏家
内藤 閑喜
Yasuyoshi Naitoh PROFILE
富士市出身、現在ドイツ・ケルン市在住。海外のさまざまな文化情報を新しい切り口で取材し、レポートを送っていただいています。



リコーダーの語源はレコーダー

音は生きています。演奏会が終わっても聴いた人の心の中に宿りますから。リコーダー・フルート演奏家 吉澤 実



◎リコーダーはおもちゃのような楽器だと思っていました。

小学校三年生の時、隣のクラスの生徒が吹いているのを見て「いいな」と思い、貸してもらって吹いたのが最初でした。

◎パロック音楽は文化の縮図。

たとえば一人の作曲家が最初にイタリア音楽に影響され、それがこんどはフランスの語法に影響され、さらにドイツの作曲家に影響されるなど、いろいろな文化が影響しあつてその時代を形づくっていく、音楽はいわば文化の縮図、もしくは人間そのものの歴史の縮図といえるのではないのでしょうか。ルネサンスからパロック時代のあらゆるものが交錯して誕生したパロック音楽は、そんなところにおもしろさを感じますね。

もともと私はオーストリアの現代音楽アンサンブルに在籍していました。現代音楽では日本人であつてもクラシックと違い、負い目を感じることなく夢中になって演奏することができました。欧米の歴史・文化的束縛感から開放された自由な気分になれるのです。

しかし古楽のアーノククルという師匠に出会った時、自分のアプローチの仕方が現代音楽も古楽も同じだと感じました。パロック音楽は、現代だからできる音楽であり、そこには人種の国境は無いと感じました。

◎楽しいときも悲しいときもリコーダー。

「リコーダー」の語源はレコーダー(録音)といった節があります。当時小鳥に音楽を教え込む道具として使われていました。「こんな様に...」(突然長さ十センチほどのリコーダーを手にし演奏してくれた音は本当に小鳥がさえずっている様に聞こえ、びくくり) リコーダーはとても正直な楽器です。息という字が自らの心と書くように、自分の心の音がそのまま出てしまうのです。楽しい時も悲しい時もリコーダーを演奏して



いると、心地が良い気分になります。ハムレットの第三幕二場「リコーダーは嘘をつくより簡単に吹ける」という言葉があります。とても魅力的な楽器ですね。

◎ミレニアムそしてセンチュリーへ生きた音を奏でたい。

生きるということは言葉を変えたと創造していくことです。生きることは創



吉澤 実
Minoru Yoshizawa PROFILE
1974年、武蔵野音楽大学を卒業。1976年、オルフ研究所を修了。1977年、モーツァルト音楽大学リコーダー科をソリスト・ディプロマ卒業。オーストリア政府給費留学生。オーストリア現代音楽アンサンブル、モーツァルト音楽大学フルート奏者を経て、1986年〜96年度：NHK教育TV「ふえはうたう」講師。現在、横浜国立大学、都立文科大学、静岡大学講師。ウィーン国立音楽大学、モーツァルト音楽大学客員。NHK番組委員。CD、VTR、論文、著書「ふえはうたう」「鳥のアルバム」他27冊。

ものが多くがバッハはフリーガのようにポリフォニーを追求した。この為モフフォニー(単旋律音楽)やホモフォニーに慣れた耳には抽象的で固いイメージを与え、演奏もしにくい。また、バッハは作曲でも時間と空間の無駄を省いたり旧作を再利用することで内面の充実をはかり、精神的深さを極めた。その結果音楽に厳しく容易に音楽を超えた真の芸術作品が完成した。優れた芸術は人間からの超越を人間との関わりの中で志向してできる。

◎バッハと日本人

全人口の六〇%が無信仰、キリスト教徒は%以下の日本で、バッハの音楽を聴くことでキリスト教徒が神をどう理解し、愛が何か解つたという人が多いという。バッハは精神の不毛を満たすのに最も成功した宣教師と言え、バッハの宗教音楽が「第五の福音書」と言われる所以だ。

日本でもバッハの人気は高い。五千部限定

わたる歌詞に心酔している光景は年中行事化している。バッハコレギウムジャパンは世界有数の合奏団に数えられている。そしてまた現在日本には百以上のバッハ合唱団があるといわれている。

◎バッハフェスティバル

没後二五〇年の今年「バッハ」終わりと始まり」をモットーとした大規模な二〇〇〇年「バッハフェスティバル」がライプツィヒ新バッハ教会の主催で開かれる。七月二十一日から十日間連日朝のミサから深夜コンサート迄毎日十回の演奏会が著名な演奏家により聖トーマス教会と聖ニコライ教会を中心に開かれる。(インフォメーションはロゼシアターにあります。)

- (1)精神的音楽に比喩のない教書多量の重要人物が関わっている。
(2)バッハの音楽の導入(二五三三)モーツァルトのオルガ演奏(二六九)フランクが洗礼を受ける(二三三)メテリクローンを著す(二七三)
(3)新約聖書「イタリヤ」の生誕を記した「マタイ」福音書
(4)キリスト受難の前日(復活祭前日の金曜日、今年四月二十日)
(5)教会音楽家ヨハン・セバスチアン・バッハの没後二五〇年(一九九〇年)に開催

2 FEBRUARY

日	曜日	ホール	イベント
3	木	小	富士学童野球連絡協議会
4	金	小	富士養護学校講演会
5	土	大	岳南法人会「財津和夫チャリティーコンサート」
		中	母と女性教職員会 講演会
		中	平成11年度富士市PTAのつどい
6	日	中	三遊亭円楽一門会
		小	岳心流富岳愛吟風会初吟会
8	火	中	21世紀の静岡県を担う人づくり講演会
9	水	大	経営方針発表会(株エインチョー)
		中	吉原高等学校合唱コンクール
10	木	小	みどり環境美化を推進する富士市民の会総会
		大	タンゴの世紀オスバルドレケーナ楽団★
11	金	小	ピアノ発表会(香川 寺田)
12	土	中	小学生バンドフェスティバル
		大	富士見高等学校 第31回吹奏楽定期演奏会
13	日	中	北野大氏講演会(マーにいちやん環境を語る)
		小	第6回百葉の会公開講座
14	月	小	高齢者継続雇用セミナー
15	火	中	ジェームス三木講演会
16	水	小	生活クラブ生協富士支部集會
		大	富士高等学校芸術鑑賞会
17	木	小	富士地域幼児交通安全対策研修会
18	金	小	平成12年度富士学童野球連絡協議会
19	土	小	富士高等学校理数科課題研究発表会
20	日	中	八十の会20周年記念公演オペラ「NAMIKO-SAN」
25	金	小	本多まきソロコンサート2000 フォルテピアノ★
		大	さだまさしコンサート★
26	土	小	白石加代子「百物語」 第5夜
		小	文豪の世界入門 第2回
27	日	大	第20回八十の会定期演奏会
28	月	小	平成12年度春堀説明会

展示室のご案内

会期	催し物	会場
2/2~6	第30回振興美術院富士支部展	特別
2/11~20	ふじの芸術家たち	特別
2/26~27	富士 富士宮地区高等学校新春書展	一般
2/26~27	吉原高等学校放課後作品展(書道 表装)	特別
2/28~3/3	二校共催高校書展	一般
	高橋三州書画篆刻展 鈴木宝作陶展	一般
2/28~3/3	書友の会書展	特別

3 MARCH

日	曜日	ホール	イベント
4	土	中	緑化講演会
		小	すみや教室発表会
5	日	中	吉原小学校吹奏楽部コンサート
		小	ピアノ発表会(佐藤)
10	金	大	ブーニン・ピアノリサイタル
		大	忍たま乱太郎★
11	土	中	ブーニン公開ピアノレッスン
		小	吉澤実バツハとリコーダー
12	日	中	第4回富士市三曲協会定期演奏会
		小	鈴木祐子ヴァイオリン教室発表会
16	木	小	二本のフルートの夕べ(豊島)
		大	わらび座公演「菜の花の沖」
18	土	中	第9回卒業式(常葉学園富士短期大学)
		小	夢みる音楽会(井出)★
19	日	中	富嶽会第28回定期総会
		小	2000ロゼピアノコンクール(予選)
20	月	小	朝陽学園付属「子供のための音楽教室」おさらい会
22	水	大	長山洋子コンサート★
		小	ピアノ発表会(阿部)
23	木	小	ピアノ発表会(渡辺 井上 時田 斉藤)
24	金	小	ピアノ/エレキトーン発表会(窪田 石田 川島)
25	土	大	富士高吹奏楽部第24回定期演奏会
		小	ピアノ発表会(風岡)
26	日	大	富士東高校吹奏楽部第15回定期演奏会
		小	2000ロゼピアノコンクール(本選)
27	月	中	吉原高校吹奏楽部第8回定期演奏会
		小	ピアノ発表会(鈴木)
28	火	小	ピアノ/ヴァイオリンのおさらい会(木村 加藤)
29	水	小	富士市教育委員会青少年相談所総会
30	木	小	めだかとめだかの発表会

4 APRIL

日	曜日	ホール	イベント
1	土	小	ピアノ発表会(アリスの会)
2	日	中	アクターズアカデミー富士校公開オーディション
		小	ピアノ発表会(井出)
8	土	大	東京フィルハーモニー交響楽団
		小	ピアノ発表会(瑞穂の会)
9	日	小	第11回スプリングコンサート(萩原)
15	土	小	Dreaming Childrenコンサート
16	日	小	ピアノ発表会(リトルピアニスト)
20	木	大	ドミニカ民族舞踊団
		小	富士市子ども会世話人連絡協議会
22	土	小	佐野緑ピアノリサイタル
		中	第14回信友会歌謡祭
23	日	小	修了コンサート(菊池)
25	火	大	劇団四季「ソング&ダンス」
26	水	小	ロゼ寄席第40回林家正雀独演会★
29	土	小	高千穂会舞踊勉強会
30	日	中	芙蓉愛吟風会創立20周年記念大会
		小	竹の会ピアノ発表会

イベントガイド

チケット好評発売中

東京フィルハーモニー交響楽団

ベートーベン交響曲シリーズ

交響曲第1番・第6番(田園)



4/8(土)大ホール

開場 18:30
開演 19:00

S席 4,000円 A席 3,000円 学生 1,500円

会期	催し物	会場
4/6~9	モモクリ企画	一般
4/13~16	公民館自主講座グループ総合写真展	一般
4/13~16	富士美術研究所作品展	一般
4/18~23	押し花グループ展	特別
4/27~30	書作品個展	特別

※一般貸出事業については、平成12年1月上旬までの受付分です。
各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。
□ロゼシアター主催事業 ★ロゼチケットセンターでもチケットを扱っています。

21世紀に向けて 「歓喜の歌」高らかに



市民合唱「第九の集い」が昨年末に開催、市民合唱団と富士フィルハーモニー管弦楽団、約三百名が「歓喜の歌」を歌い上げ場内は感動と喝采の渦に包まれました。

ベートーベン交響曲シリーズ

客席より

●以前「第九」に参加したことがありますが、今日は客席から聴かせてもらい感動しました。(富士市 女性 五〇才)
●重量感、躍動感がすばらしい。(富士市 男性 八〇才)
●全員が努力し、一杯の成果が現れた大合唱はすばらしいものでした。(富士市 主婦 六〇才)
●初めてクラシック演奏と合唱を聴いたのですが、生で聴くとすごく感動しました。(静岡市 OL 二〇才)
●「第九」で楽章ごとの拍手は何とかなりませんか。(清水市 会社員 三〇才)

●富士市の文化活動がますます盛んになって来て大変素晴らしい。こういった企画をどしどし進めてください。(富士市 男性 五〇才)
●富士市にこんな素晴らしい楽団があるのに感動しました。(富士市 主婦 六〇才)
●拍手、拍手、拍手！素晴らしい神の声でした。(庵原郡 主婦 四〇才)
●また来年も開催して欲しい。(沼津市 会社員 三〇才)
●ほくのババがでているので、ババが大きかったよ。(富士市 小学生 九才)
●涙がでるほど感動しました。(富士市 女性 五〇才)
●素晴らしいの一言です。皆さんのプロ意識には驚きました。ブラボー！(富士市 主婦 四〇才)

ステージより

●私はただロゼの舞台上に立ってみたいというのが本当の動機でした。しかし先生方の説得力ある指導に、ドイツ語で歌う第九に喜びを味わうことができました。(アルト 女性)
●堤先生の指揮に夢中で歌いながら、涙が自然に頬を伝わり身体中が熱くなりました。(アルト 女性)
●演奏が終了しても誰一人席を離れようとしなかったのを覚えています。感動の「第九」だったと思います。(バリトン 男性)
●学生時代から何回となく第九合唱で舞台上に立ちましたが、今回ほど感激した舞台はなかなかったです。(ソプラノ 女性)
●「天使の声」とまではいきませんが、歌い上げることでできました。富士市が「文化」に力を入れている事に感謝しております。(バリトン 男性)
●富士宮から仕事が終わった後に、夢中になって参加致しました。第九の呼吸方法は肩が張ったり、神経を静める時活用しています。(アルト 女性)



聴講者を抽選する鈴木理事長

スタニスラフ・ブーニン ピアノ公開レッスン 聴講希望者 抽選で二百五十組招待

ブーニンピアノリサイタルの公演に伴い、三月十一日、学生を対象としたピアノ公開レッスンを開催します。このレッスンに聴講者を募集したところ全国から六百通以上のご応募をいただき、今年はじめ鈴木清見財団理事長による抽選会がおこなわれ、二百五十組・五百名が選ばれました。

他都市でも例少ないブーニンピアノ公開レッスンは音楽関係者からも注目され、ロゼシアターでの開催は今後、富士市の文化事業に大きな影響を残すことは間違いありません。

ロゼネット

「第九」公演の喝采の余韻もさめやらぬ十二月二十九日、合唱団のメンバー百二名による東京遠征の日が来た。これは我がロゼの合唱団が、この日開催される池袋の東京芸術劇場での堤俊作指揮、ロイヤルメトロポリタン管弦楽団「第九」公演に出演するためである。

この遠征の世話人となった私は前日の忘年会も早々に引き上げ、仕事納めを飾ろうと富士を出発した。会場は一九九九年満席、一九九九年の締めくくりにふさわしい数字である。九の並ぶ年に感動し今年新たな数字を並べることに喜びを感じたい。

ブーニン氏も「ロゼ」のスタッフに！

ケルンから毎海外のレポートを伝えていた内藤喜喜氏とブーニン氏の関係は「案内のこと(十三号掲載)」実は今回のブーニン氏掲載の写真は内藤氏が来日する前にケルンに依頼しケルンから日本へ直接持ってきてもらったもの。のだそう。なんと貴重な資料になりました。

楽器(表紙)リコーダー

三十号記念誌を飾るのは本誌登場の吉澤実さん自慢の楽器「リコーダー」(七〇〇年頃)、バロック時代ヨハン・クリストフ・フンデルの作品、デザインはクラリネット、ファゴットの創製者でもある。

この楽器は象牙製で楽器であると同時に装飾品の要素を持つ。裏話にTV番組「人気者でいこう」芸能人格付けチェックに登場し、プラスチック製と聴き間違えた芸能人も多かったという。

チケットのお申込み・お問い合わせは

ロゼ・チケットセンター

☎0545-60-2500 受付時間 9:00~19:00

■すみや 富士本町店 ☎(0545)63-2233 富士中央店 ☎(0545)60-4567 富士市民センター ☎(0545)61-8262 ■ラ・ホール富士 ☎(0545)53-4300	■カワセ書店 鷹岡店 ☎(0545)71-9592 富士宮・宮原店 ☎(0544)24-7160 ■タンザワ楽器富士支店 ☎(0545)52-1588 ■マルサン館静岡見店 ☎(0559)63-0350	■ユニサービスカウンター 吉原店 ☎(0545)51-9027(代) 富士宮大宮店 ☎(0544)24-0255(代) ■吉原駅前13号ビル ☎(0545)51-5227 ■三島(7イ・ジ) ☎(0559)73-3003
--	---	--

ロゼシアターホームページアドレス <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~rose/> e-mail rose@city.fuji.shizuoka.jp
みなさんとロゼを結ぶホットライン！ イベント情報・館内情報・トピックスなど盛りだくさんの内容です。